

# 地域ネットワークだより

地域の思いを糧にこめて

## かごしま女子駅伝

第39回 鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

2026  
1.25<sup>SUN</sup>

AM 10:00 START

実況生中継

[MBC テレビ] 午前9:54~11:30

[MBC ラジオ] 午前9:59~11:30

□ 参加資格: 中学生以上

□ チーム数: 12チーム

[インターネット配信]

午前8:00頃~

国内外で活躍するトップランナーから県下トップレベルの中学生まで様々な選手が参加する「かごしま女子駅伝」。39回目を迎えた今回、これまで高校生以上の選手の出身地の考え方は出身中学校のみでしたがルール改正により出身中学校or出身小学校から選択をして出場できるようになりました。それに伴い各地区の勢力図も変わり激戦が予想されます。地域への感謝を胸に新春の霧島路を駆ける12地区の女性ランナーに声援をお願いします。

前回大会 ふりかえり

優勝 鹿児島



かごしま女子駅伝 第39回 鹿児島県地区対抗女子駅伝競走大会

2位 始良



Cクラス優勝 曾於



Bクラス優勝 大島

# KAGOSHIMA MEET LUNCH in TOKYO

地域に新たな視点と活力を生み出す「関係人口」。MBCではその増加を目指す取り組みの一環としてSNSを利用した関係人口プラットフォーム「KAGOLOOP」の運用を県から受託しています。今回はそのリアルイベントとして首都圏在住者を対象とした食イベント「KAGOSHIMA MEET LUNCH in TOKYO」を初めて開催しました。鹿児島島の豊かな食材と生産者の想いに触れるイベントの様子をレポートします。

11月29日土曜日に東京・銀座のレストランで行われた「KAGOSHIMA MEET LUNCH in TOKYO」には首都圏に住むおよそ30人が参加しました。会では鹿児島黒牛をはじめ、スナップエンドウ、月日貝、さつまいもなど、鹿児島が誇る旬の食材をふんだんに使用した料理が提供されました。会場では、MBC収蔵の懐かしい鹿児島の映像を視聴したり、生産者から直接、説明を聞いたりするワークショップが行われ参加者は五感で鹿児島を堪能しました。

## 日本一の鹿児島黒牛を 生産者の説明とともに味わう

和牛日本一に輝いた鹿屋市の「うしの中山」の生産者が、肥育環境などのこだわりをスライドを用いて説明しました。参加者から質問が寄せられるなど生産者との交流を深め、肉についての理解、そのクオリティを感じていました。



メインディッシュ、黒牛のフィレとサーロインを鹿児島ならではの料理酒「黒酒(くろざけ)」のソースで提供しました。参加者からは「鹿児島の食文化はすごく深いと思いました」などの声が聞かれました。

## 荒茶生産量日本一！ お茶を楽しむワークショップ

イベントの途中では、南九州市知覧の「村岡製茶」による「おいしいかごしま茶の淹れ方」ワークショップを実施。参加者は温度による風味の違いを体験しました。生産者への質問を通じ、日本一の「かごしま茶」の魅力に触れる機会となりました。



2月には  
産地訪問  
イベントを  
開催

## ■ KAGOSHIMA MEET TOUR

2月には県外居住者を対象に、「KAGOSHIMA MEET TOUR」としてガストロノミーツアーを開催します。南薩地域を舞台に、鹿児島の生産者や古民家再生地域を訪ね、採れたての食材に込められた想いや町づくりのこだわりに触れながら、「鹿児島とのつながり」を感じる旅です。MBCはこれからも生産者や地域の人との交流を通じて、関係人口拡大に向けた取り組みを推進していきます。

鹿児島発の関係人口プラットフォーム「KAGOLOOP」にぜひ登録ください。

公式LINE







介護の現場をサポート

# 介護DX事業

▶▶ スタート ◀◀



MBCでは今年度新たに「介護DX事業」を始めました。これは、さまざまな地域課題の解決を目指すMBCが、デジタル技術の活用と情報発信を通じて、介護を取り巻く環境をより良くしていこうという新たな取り組みです。



介護DX事業の柱のひとつが、介護支援システム「ライブコネクト」のセールスです。深刻な**少子高齢化に伴う人手不足**が課題となる中、東京のITスタートアップ・Z-Works社が開発したこのシステムを、まずは介護施設向けに展開します。

独自の高性能センサーで居室を“見える化”する「ライブコネクト」は、現場の負担軽減に寄与するだけでなく、クラウドに蓄積されるデータをAIが分析することで、**最適なケアプランの策定をサポート**することも可能となります。

設置の際、**Wi-Fi環境は不要**です。携帯回線を使用するため大規模な工事も要らず、スムーズに導入できます。施設におけるQOL（生活の質）向上はもちろん、将来的には独居高齢者の見守りにも活用できる高いポテンシャルを秘めています。MBCは本システムの販売を通して、地域の介護を支える一助となることを目指します。



▲複数センサーで居室を“見える化”する「ライブコネクト」



▲独自の高性能センサーをベッドに設置し、呼吸や心拍などバイタルデータを記録

介護にまつわる情報発信も強化します。ラジオ番組「モーニングスマイル」内では、新コーナー『みんなの介護ストーリー』（毎週水曜 朝6時45分頃）がスタート。介護現場での勤務経験を持つタレント・川原田優華が、現場の楽しさや大変さといった「リアル」を取材し、仕事の認知度向上を図ります。

## 取材快調 / みんなの介護ストーリー

新コーナー



タレント  
川原田優華



さらにニュースやWebサイトを通じた発信も継続し、「介護といえばMBC」と言われるようなポータルの存在を目指します。MBCの介護DX事業に、どうぞご期待ください。



# かごしま女子駅伝

1月25日(日)  
午前10時  
**号砲!**

県内の女性ランナーのレベルアップを目的に、MBC創立35周年を記念して1988年に始まったかごしま女子駅伝が1月25日(日)に行われます。レースの様子はMBCのラジオ・テレビ・インターネットで放送されます。県内12地区、各チームを紹介します。

## 1 鹿児島



今年のチームは、主力である実業団、元氣いっぱいな高校生、成長著しい中学生とバランスよく選手を登録できました。応援してくださる皆様に元気を届けられるように、仲間を信じ、絆に思いを込めて走ります。(諏訪原 弘道 監督)

## 2 指宿



前は、目標のCクラス優勝までわずか6秒届かず、10位という結果でした。「1秒を削り出すことの大切さ」を学んだメンバーそれぞれが、日々の練習を積み重ねてきました。今年こそ悲願のCクラス優勝を目指し、最後まで戦を頑張ります! (松山 由和里 選手)

## 3 川辺



全員が揃って練習できる機会は多くはありませんでしたがそれぞれが日々の練習に励み、昨年より一段と力をつけてきました。今年こそ抜群のチームワークを武器にBクラス優勝を勝ち取りにいきます。(有村 結心 選手)

## 4 日置



前はチーム一丸の走り、一時首位にたつなど上位でレースを進めることができ3位という素晴らしい成績を収めました。今年のチームは社会人が中心となり、実績のある高校生とともに、持ち前の粘り強さとチームワークを武器に、大会に臨みます。(谷口 功 監督)

## 5 川薩



夏の合同練習会では中・高・社会人が切磋琢磨することでチーム力が高まり、絆も深まりました。また今年はSNS等で活動の様子を発信するなど、今まで以上に応援していただけるような取り組みにも力を入れてきました。Bクラス優勝をめざします。(宮脇 由美 監督)

## 6 出水



高校生を中心としたチームですが、練習会や合宿で切磋琢磨することで個々の力をのばすとともに、絆を深め、駅伝力を高めることが出来ました。日頃から応援して下さる皆様に走りを通じて恩返しできるように感謝の気持ちを胸に全力で臨みます。(中島 絢音 選手)

## 7 伊佐



最下位の悔しさを胸に前回大会直後から毎週水曜日の練習会を継続してきました。チームワークは一番だと思っています。伸び盛りの中・高生の積極的な走りに期待し、ピンクの襷に思いを込めた熱い走り地域を盛り上げたいと思います。(山脇 秀和 監督)

## 8 始良



中・高生の全国レベルで活躍する選手に加え、社会人、実業団で経験を積んだ選手がそろいました。明るく前向きな雰囲気の中で日々の強化に取り組んできました。チーム一丸となって優勝を目標に最後まで粘り強く走り抜きます。(西川 歩夏 選手)

## 9 曽於



前は、一区から粘りの走り、最終区での劇的な逆転劇でCクラス優勝を達成しました。今年は、長年チームの中心メンバーだった3人が抜け「新生曽於チーム」で臨みます。感謝の気持ちを胸に黄色い襷に心を込めて走ります。(鈴木 泰一 監督)

## 10 肝属



今年は、中学生から社会人まで力のある選手が揃いました。目標は、前回成し遂げられなかったBクラス優勝、そしてAクラス入りです。チーム一丸となって最後まであきらめることなく戦を闘います。(清水 健児 監督)

## 11 熊毛



社会人となり、再びこの舞台に戻ってきて、改めて地元・熊毛チームの一員として走れることを本当に嬉しく思います。これまで積み重ねてきた経験を力に変え、笑顔で届けられるように全力を尽くします。(前田 海音 選手)

## 12 大島



この一年、選手全員が大会に向け一生懸命取り組んできました。チーム目標は5位以内、近年、功を奏している1区の勢いそのままに、今回思い切った走りを目指します。今年の干支は牛、力強く、軽やかに霧島路を駆け抜けたいです。(備 秀明 監督)

